

人間総合科学大学通信

2012年度の始まりです。学報『華蓮だより』は4月、7月、10月、1月と季節ごとに年4回の発行です。

先生方からのメッセージ、イベント情報、各種連絡さらには卒業研究の進め方等掲載していますので必ず目を通しましょう。



自らの生命と人生をプロモーションするための“学び”とは

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生の皆さんは、気持ちもあらたに新しい年度を迎えたことでしょう。

さて昨年は、人のいのちを真剣に考えさせられる事件が二つ起こりました。一つが、東日本大震災であり、もう一つが震災の影響から起こった福島原発事故です。先日、私たちは、震災の起こったちょうど1年後の3月11日に「明日を、つむぐ絆」と題して講演会を開催しました。約200名の聴衆の方が集まり、私たちが学んでいる心身健康科学から「いのち」について考えました。

人間総合科学大学は、「こころ」「からだ」「文化」から科学的に人間を理解するという教育方針において人間とは何か、生命とは何かを学んでいきます。また心身健康科学をコアとして健康とは何か、幸福とは何かを考えていきます。

一方、現代科学の関心は、一つが私たち人間の内なる宇宙＝小宇宙の探求にあります。それは、人間の心とは何か、精神活動とは何かといった、これまで哲学や宗教によって語られてきた、人間性の根源に迫るテーマです。もう一つが、生命の素とは何かを対象とした大宇宙への関心です。現在、宇



久住真理 理事長・学長

宙空間に生命活動の源となる物質が存在しているという仮説から科学的な観測や実験がスタートしています。さらに生命誕生のなぞやヒトが人間らしさを獲得したなぞの解明は新たな展開を迎えています。つまり、大宇宙から、地球の誕生、生命の誕生、人類の誕生、さらに内なる小宇宙の解明へと向かう「いのちのつながり」が最先端科学のテーマとなっています。言い換えると、私たちは「いのち」の存在を科学的に理解しようとする時代に生き、人間が歩んできた生命誕生以来の「いのちのつながり」を科学的に考えることのできる社会の中で暮らしているのです。

つまり、人間総合科学、心身健康科学がめざす、科学的・総合的な人間理解は、この時代に生き、この社会の中で暮らしている私たちにとって大変価値のある学びであるといえます。そして、人間総合科学、心身健康科学の

目次:

自らの生命と人生をプロモーションするための“学び”とは／学長 久住真理	1
一年の計は新学期にあり／学科長 大東俊一	2
卒業研究への取り組みについて／島田涼子 先生	3
講演会『明日を、つむぐ絆』を開催しました	4
第23回生涯学習特別講義を開催しました	5
卒業研究について	6
大学とのコミュニケーション／休校日のお知らせ	8
オフィスアワー予定表	9

学びから得た知見をよりよく生きるための知恵(Knowledge for well-being)として活かしていくことで、どんなに苦難の多い時代にあっても、自らの生命

と人生をプロモーションしていく能力を養うことができるだろうと思っています。

一年の計は新学期にあり

例年になく寒い冬が終わり、春らしい陽気になってまいりましたが、大学は新学期を迎えています。

前期生の1年次入学、及び、3年次編入の皆さん、まずはご入学おめでとうございます。通学制の健康栄養学科や保健医療学部でも新入生を迎え、この4月はキャンパスが華やかです。昨今は大学の秋入学に関する議論があちこちで行われていますが、本学の人間科学科におきましてはすでに実施されているところがあります。大学に入って学びたいと思っただけがまさに入学適齢期といってもよいわけですので、勉学したいと思っただけの多くの社会人にとりまして、本学の春・秋両季の入学機会は、学ぼうとする姿勢を後押ししているのではないかと思います。

新入生の皆さんはさまざまな目的をもって本学に入学されていると思いますが、初心を忘れず、本学での学修の機会を十二分に利用しながら、自己実現を図って頂きたいと思えます。そして、今後の人生においてより良く生きるための知恵を身につけ、社会人としてさらなる発展を図って下さい。

さて、「一年の計は元旦にあり」という言葉がありますが、大学におきましては「一年の計は新学期にあり」といっても過言ではありません。1年次入学の方々につきましては、大学のい

ろいろなシステムに慣れ、入学当初のモチベーションを維持していくことが、今後のスムーズな学修につながっていきます。2年生にとっては、前年の学修を振り返って、今後の学修の戦略を練り直す時です。3年次編入の方は、大学のシステムに早く慣れることに加え、翌年に取り組みことになる卒業研究のことも考え始めなくてはなりません。3年生は4年次への進級ということがありますので、これまでの修得単位の確認を行いながら、履修を進めなくてはなりません。そして、4年生は卒業研究に体当たり(?)して取り組むことになります。それぞれの学年でしかるべき目標があるかと思えますので、この4月は自分の学修を振り返り、今後の作戦を立ててみましょう。後期生の方に関してもまた然り、です。

このような各学年の特性に加え、通信制での学修において考慮しなくてはならないもうひとつの要素は、皆さんご自身の環境です。仕事の状況や家庭の事情に合わせて学修の過程を工夫しなくてはならないことは言うまでもありません。また逆にそれは通信制のメリットでもあります。在学生の方々はすでに対処済みのことかもしれませんが、新入生の方々にも通信制のメリットを享受して頂きたいと思えます。

皆さんの今年度の学修が順調に行きますよう祈念致しております。

くすみ まり
学校法人早稲田医療学園理事長、人間総合科学大学学長、「心身健康科学概論」担当



大東俊一 学科長

だいとう しゅんいち
人間科学部 人間科学科 学科長、「英語～速読演習～」「文明科学概論」「比較文化論」「西洋文化論」「比較芸術論～日本の美術～」「人間観」「異文化コミュニケーション」「生涯学習特別講義ネット授業2・4」担当

卒業研究への取り組みについて

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

昨年は、想像すらできなかった天災と悪夢のような人災に次々と見舞われました。何を信じてよいかわからなくなり、強い感情に圧倒され、それから自分にできることすべきことを考え、人生と向き合い、そして、物事の感じ方受けとめ方が変わったことに気づいた人も多いのではないのでしょうか？ そんななか人間総合科学大学に入学された皆さんは、自分の生きている(生かされている)意味や、人生で果たしたいことや欲しいものは何か、幸せとは何か、などについて真剣に考え、その答えに近づく方法を学ぶために、人間総合科学大学への入学を決められたのではないのでしょうか。



島田涼子 先生

それは、生涯学習の場としての本学にこれまでに入学されたすべての在学、卒業生についても実は同じことが言えるのだらうと思います。だからこそ、本学では自立と共生を謳う建学の精神に基づいて、すべての学生が卒業研究を完成させて卒業する制度を守り育ててきました。卒業研究は、一人ひとりの学生の、知的興味や人生についての問いを深め、あるいは問題解決の糸口をつかむための場所です。

皆さんの探究のプロセスに、私たち教員は、方法論や異なる視点や考え方を提供しつつ伴走し、答え探しを手伝います。スクーリング(集中講義)と一緒に過ごす時間は1科目について1日半から2日半ですが、卒業研究指導では1年近い時間・過程をともにすることになります。私たち教員の最も大きな楽しみは、学生さんが大きく成長され、研究を始めたときと比べると、視野

や思考の幅が広がり、気づきを得て行動の選択肢が増えたり、知りたかったことについて知見を深めた、答えを見つけ出せたと喜ばれることです。また、その過程を一緒に歩むことで、教員も成長しているようです。

さて、その卒研で、ちょっと気になることがいくつかあります。私たち教員は、上述したように、大きな方向性や方法論、さらに形式を整えることなどについてアドバイスをしますが、完成させるのはあくまで学生自身です。教員からのアドバイスをよく咀嚼し、必要であれば教員と議論を重ね、ご自身の言葉で文章を完成させてください。また、誤字脱字を訂正したり、書式を整えたりという作業も学生自身の仕事です。さらに、引用であることも出典も明示せず書籍や論文他から文章を拝借してしまう行為、コピー&ペーストなどは、厳しく言えば盗作であり、そうした行為は皆さんがこの大学に入学された意味をご自身で損なうこととなります。学生本人にとっても、大学にとっても大変残念なことです。

皆さんの自己実現のためのアプローチとして、卒業研究に取り組む意味を確認し、大切な作品として完成まで主体的に取り組んでいただきたいと思います。達成感を持ち、晴れ晴れとした気持ちで卒業式を迎えましょう。

しまだ りょうこ
「人間理解へのアプローチ～心理臨床の視点」
「人間関係論～精神分析を基礎として～」「交流分析～自己理解を深め、社会生活に役立つ～」
「現代家族論」「行動科学概論」担当

心身健康科学概論【英訳(初版)・日本語(第2版)】 同時発刊記念講演会「明日を、つむぐ絆」を開催しました

3月11日(日)、心身健康科学概論【英訳(初版)・日本語(第2版)】の同時発刊を記念しての講演会「明日を、つむぐ絆」が、東京・品川の「THE GRAND HALL」にて開催されました。約200名もの聴衆の方々にご参加いただきましたが、その中には在学生の皆さまもい

らっしゃったと思います。ご来場いただきありがとうございます。

今回の華蓮だよりでは、その様子の一部を速報としてご紹介させていただきます。

■久住眞理学長が、科学的・統合的に、いのちについて深く考えることの大切さを語る

当日は、昨年発生した東日本大震災から1周年にあたり、日本各地で追悼式が行われました。本学・久住眞理学長の特別講演『「ここからだ よりよく生きる知恵を世界へ」』においても、学長ご自身が出会った岩手県・陸前高田市のこと、本学のグループ校である人間総合科学大学鍼灸医療専門学校の教員やスタッフたちによるボランティア活動のことなどのお話を契機に、心身健康科学概論【英訳(初版)・日本語(第2版)】の監修・著者である学長から、心身健康科学の大きなテーマ＝よりよく生きるための知恵(Knowledge for well-being)を身につけることの大切

さや、自らのいのちと健康を主体的にプロモートしていく「いのちの運用」の考え方の重要性が語られました。

聴衆の皆さんも、終始、熱心に耳を傾け、アンケートにも「久住学長の教育観を聞いて有益だった。基礎研究の重要性を改めて考えた」「絆という言葉は人間の細胞レベルでも考えられる言葉であることに気づかされた」「予期せぬ出来事に会ったそのときに私自身は何ができるのか…考えさせられる1日でした」といった回答などが寄せられ、充実した1日だったようです。

■分子生物学者として著名な青山学院大学・福岡伸一教授が心身健康科学に共感

招待講演では、『動的平衡』『動的平衡2』の著者である福岡伸一・青山学院大学教授から『生命をとらえなおすー動的平衡とは何かー』というテーマでお話いただきました。

印象に残ったのは、生命に対して動的平衡という考え方をもちの福岡伸一先生が、久住学長の講演をお聞きになり、心身健康科学における宇宙や進化、生命や人間、組織や細胞などに対するアプローチに「事前にお会いして話したのではありませんが」と前置き

し、「共感するところが非常に多い」と語っていたことです。久住学長の講演の中にも、生命を構成する要素が、互いに相関的な関係性をもって機能していることが語られましたが、福岡先生は、そのことを「相補的な関係を維持しつつ更新されている」と表現し、生命活動における「関係性」の重要性を訴え、心身、生命と関係性の問題については、その後のパネルディスカッションへと舞台を移しました。



久住眞理 学長



福岡伸一 先生

ふくおか しんいち

青山学院大学
総合文化政策学部教授

生物学者。1959年東京生まれ。
京都大学卒。

サントリー学芸賞受賞のベストセラー『生物と無生物のあいだ』(講談社現代新書)や『動的平衡』、『動的平衡2』(ともに木楽舎)など、「生命とは何か」を分かりやすく解説した著作を数多く発表。NHK BSプレミアム「いのちドラマチック」にコメンテーターとして出演中。



青木清 副学長



福岡先生と久住学長



会場の様子

■参加者は興奮した様子で感想を話し合いながら会場をあとに

パネルディスカッションでは、青木清先生が参加、まず青木先生の発声で、震災で亡くなられた方々に哀悼の意を表すため1分間の黙とうが行われました。

そのあとの議論は、(会場から集まった多くの質問に答える形で)心身関連の科学、自己組織化、動的平衡などの話題から講演者それぞれの意見が交わされ、最後に今を生き、明日を生きるために、この講演会で得られた知識を「よりよく生きるための知恵

(Knowledge for well-being)」として活かしてほしいと、聴衆の皆さんにエールが送られました。

その後、ロビーにおいてコーヒーがふるまわれ、また中島由夫画伯のポストカードが進呈され、来場した皆さんと本学スタッフとの間で和やかに互いの感想を話し合いながら無事講演会の終了となりました。

『心身健康科学概論』【英訳(初版)・日本語(第2版)】および『心身健康科学シリーズ』の詳細は、本学HP(<http://www.human.ac.jp/>)をご覧ください。

なお、今回の心身健康科学概論【英訳(初版)・日本語(第2版)】同時発刊記念講演会『明日を、つむぐ絆』は、後日、講演録としてまとめられます。

◆本講演会で集まった義援金は、震災に見舞われた「岩手県立高田高等学校」(陸前高田市)に送らせていただきます。皆さまのご協力に感謝いたします。



『心身健康科学概論』英訳版 Health Sciences of Mind and Body First edition
『心身健康科学概論』第2版

第23回(2011年度 第3回)生涯学習特別講義 『人間の能力は、遺伝子か環境か』を開催しました



安藤寿康 先生

第3回生涯学習特別講義が3月10日(土)、蓮田キャンパスの大教室において「人間の能力は、遺伝子か環境か」のテーマで開催されました。

今回はゲスト講師として慶應義塾大学教授・ふたご行動発達研究センター長の安藤寿康先生をお迎えし、「人の能力は生まれつきか、環境か」のご講演をいただきました。学内からは庄子和夫先生「遺伝子のスイッチと生物としての可能性」、吉田浩子先生「優しさと思いやりの起源を考える～社会生物学の知見から～」、中野博子「生まれと育ちがヒトに与えるもの」の講義があり、続いて講師全員によるパネ

ル・ディスカッションが行われました。

安藤先生のご講演ではふたごの実験映像も拝見し、遺伝の影響が予想以上に大きいことが印象に残りました。100名以上の参加者が朝早くより最後まで真剣に聞いてくださいました。

今回は学外の一般参加の方が半数を超えたとのこと、テーマへの関心の強さも感じました。遺伝と環境という、心身健康科学における大きなテーマについて改めて考える機会となり、参加された皆さんにも有意義な1日だったと推察いたします。

(中野博子記)



会場の様子

卒業研究について

心にとどく‘プレゼン’も視野に

現代は情報リテラシーを必要とする時代です。リテラシーとは書いたり読んだりする能力のことですが、溢れる情報のなかから必要なものを取り出し、把握・収集し、さらに相手に発信していくことが求められているからです。

そこでプレゼンテーション能力も重要になってきました。プレゼンテーションとは、自分の調査・研究したものの、あるいは人に伝えたいことを口頭で発表し、聞き手を納得させることです。限られた時間内に効果的に自分の伝えたいことを相手に理解してもらうために、資料の提示方法や話し方、表情や視線などを工夫して

相手の心をつかむことがとても大事になります。

卒業研究を完成させること、これは大学生活の一つの集大成であり、卒業後の人生のステップとなるととても意義あることです。しかし、論文を書きあげたことで終わりとししないで、その研究を多くの人に発信することも視野に入れてみてはどうでしょうか。

そのためには、講演会や研究会などに参加し演者や報告者がどのように話を進めるか研究するとよいでしょう。また卒業研究発表会に参加するなどして、先輩たちの発表から学ぶことも大事です。

卒業研究
コーディネーター
岡野幸江先生からの
ワンポイント・アドバイス

卒業研究に関するお知らせ

◆UHAS@Myキャンパスで公開される、『卒業研究発表会(Web発表)』の掲載期間は、学位授与式までの1週間です。

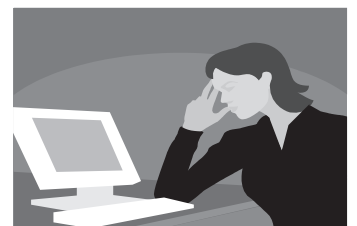
⇒UHAS@MYキャンパス>TOP画面
>卒業研究>「Web発表」

◆2012年3月31日をもって、**卒業研究報告書の図書館での閲覧は廃止**されました。代わって、UHAS@Myキャンパスで卒業研究報告書作成の参考となるようなものを閲覧できるようにしましたので、こちらをご利用ください。

⇒UHAS@Myキャンパス>TOP画面
>卒業研究>「Web公開」

◆卒業研究報告書はUHAS@Myキャンパスからも提出できるようになりました。詳しくは、提出承認通知書に同封される「提出要領」をご確認ください。

◆卒業研究において、指導教員との面接は原則必須になっています。研究過程での疑問点や相談ごとなど、直に向き合って話をする中で、さらに充実した研究成果へと結びつけるきっかけにもなりますので、研究を進めながら積極的に面接指導を受けましょう(居住地が遠方であることや、諸事情により電話面接が可能になる場合があります。申込みの際、指導教員にご相談ください)。



卒業研究スケジュール

卒業予定時期	手続きの内容
2012年9月 卒業予定者	<p>【草稿の提出にあたって】</p> <p>4月1日から草稿(1回目)の提出受付が始まります。提出方法は、郵便またはUHAS@Myキャンパス(「卒業研究 ○○○○(指導教員名)」→「草稿提出」を参照してください)です。郵便の場合、原稿だけでなく「ここがうまく書けない」等の質問・相談を別紙でつけるとよいでしょう。提出期限は5月31日ですから、今の段階でまだ不安を抱えている方でも、これからの頑張り次第で十分追いつけます。指導教員から、卒業研究報告書として提出承認されるまでに、数回の添削指導を受けながら草稿をまとめていくこととなりますので、早めに提出することを心掛け、自分から積極的に連絡し、指導やアドバイスを受けるようにしてください。また、パソコンで作成する学生は、パソコンのトラブル等に備えて、メモや原稿のバックアップをとっておきましょう。手書きで作成される学生は、万一の郵便事故に備え、原本は手元に残し、コピーをお送りください。</p> <p>《ご注意ください》</p> <p>卒業研究報告書を提出する為には、指導教員より提出承認を得る必要があります。提出承認を得るためには、最低1回以上は加筆修正を行って頂く必要がありますので、早めに1回目の草稿を提出しましょう。また、提出承認期限後すぐに卒業研究報告書の受付期間が始まります。報告書提出期限の頃は、多くの提出物の期限と重なることもありますので、あわてないよう余裕をもった対策をたてておくことをお勧めします。</p> <p>～よくある質問～</p> <p>Q.「草稿」提出期間には、完全な原稿しか提出できないのですか。</p> <p>A.完全に仕上がった原稿でなくても提出していただくことは可能です。期限内に余裕があるうちは、例えば「第一章」あるいは「目的」と「方法」など、ある程度まとまった原稿ができたところで、指導教員の助言を求めてみましょう。そのようなやりとりを繰り返して「提出承認」を得られる草稿にまとめていきます。「表紙(タイトルページ)」・「要約・キーワード」・「目次」・「人間総合科学の理解」は6月1日からの加筆・修正期間に仕上げることも可能です。</p>
2013年3月 卒業予定者	<p>【いよいよ、研究の開始です】</p> <p>研究テーマの申請は終わりましたか？ 提出しない場合は「2013年3月卒業予定」のスケジュールでは卒業研究を履修しないとみなされますので、十分注意してください。</p> <p>提出された研究テーマに基づいて、指導教員が決定されます(「研究テーマ・指導教員決定通知書」は、5月中旬に発送を予定しています)。それまでに質問、相談がある場合は、郵送又はUHAS@Myキャンパス「卒業研究Q&A」で受付しています。また『卒業研究履修の手引き』でスケジュールをよく確認しておきましょう。</p> <p>指導教員決定後には「研究プラン概要書」を提出しなければなりませんから、「研究テーマ・指導教員決定通知書」を待つ間にも、文献(先行研究)を探すことや研究方法を検討しておくことをお勧めします。「研究プラン概要書」の内容に基づき、指導教員の受付承諾を受けると、いよいよ本格的な研究の開始です。受付承諾を受ける期限は6月15日ですが、その期間中には、指導教員から再提出を指示される場合がありますので、余裕をもって提出しましょう(受付承諾された場合は、研究プラン概要書「指導教員所見・指示欄」の1に○が付けられ返信されます)。</p>
2013年9月 卒業予定者	<p>【卒業研究について考え始めましょう】</p> <p>『卒業研究履修の手引き』をよく読んで、スケジュールを確認しておきましょう。ご質問には、「卒業研究係」又は「卒業研究コーディネーター」がお答えします。質問票を郵送、またはUHAS@Myキャンパス「卒業研究Q&A」までお送りください。</p> <p>5月には予備調査(任意)を実施します。皆さんから寄せられた質問に基づき作成した冊子、「卒業研究に関する質問と回答Q&A」を後日送付いたします。</p>

大学とのコミュニケーション

◆窓口対応時間◆

【蓮田キャンパス】

通常(火～日) 9:00-17:00

科目修了試験日 9:00-18:30

スクーリング開講日 8:30-18:30

※スクーリング最終日(木・日)は17:30迄

※月曜日、祝日は休校です。

【東京サテライト】

通常(火・水・金～日) 12:00-17:30

科目修了試験日 9:00-17:30

スクーリング開講日 8:30-18:30

※スクーリング最終日(木・日)は17:30迄

※月曜日、木曜日、祝日は休校です。

◆電話・FAXによる問い合わせ◆

【蓮田キャンパス】

TEL : 048-749-6885

FAX : 048-749-6110

【東京サテライト】

TEL : 03-5298-8111

電話受付時間は窓口対応時間と同じです。FAXは24時間受け付けています。お問い合わせの際は次の事項を厳守してください。

・やむを得ない場合を除き、必ず学生本人

が連絡してきてください。

・電話の際、最初に「学籍番号」と「氏名」を告げてから用件を話してください。また、用件は簡潔にお願いします。

◆図書館・パソコン教室の利用◆

！注意！ 月曜日は利用できません。

【図書館開館時間】

通常(火～日) 10:30-17:30

スクーリング実施日等 10:30-18:30

スクーリング最終日 10:30-17:30

スクーリング等のない土曜等 10:30-16:30

図書館利用にあたっては、『学修生活の手引き』を参照してください。

【パソコン教室開放時間】

通常(火～日) 9:00-17:00

スクーリング実施日等 9:00-18:30

パソコン教室は、行事と授業の関係で利用が制限されることがあります。また、パソコン教室の利用にあたっては、『学修生活の手引き』を参照してください。



各種申請・提出期間や締切等は『学修生活の手引き(別冊)』で必ず確認してください。

キャンパス休校日のお知らせ

定休日に加え、以下の日程で休校します。

◆蓮田キャンパス休校日◆ 月曜日定休

4月29日(日) 昭和の日

5月 2日(水) 創立記念日

5月 3日(木) 憲法記念日

5月 4日(金) みどりの日

5月 5日(土) こどもの日

◆東京サテライト◆ 月曜日・木曜日定休

4月29日(日) 昭和の日

5月 2日(水) 創立記念日

蓮田は(月)、東京は(月)(木)が定休日です。

5月 4日(金) みどりの日

5月 5日(土) こどもの日

◆図書館休館日◆

休校日に加え、以下の通り休館します。

4月1日(日)、4月15日(日)、4月22日(日)

5月13日(日)

ご利用の際はご注意ください。休館日は変更になる場合があります。最新の情報は本学ホームページ(<http://www.human.ac.jp/>)でご確認ください。



オフィスアワー予定表 4月16日～7月15日

教員名	日時
久住武先生	第1土曜日・第3金曜日 10:00～16:00
大東俊一先生	土曜日 10:00～12:00
岡野幸江先生	金・土曜日 10:00～16:00
鍵谷方子先生	土曜日 10:00～16:00
小岩信義先生	第1・3土曜日 10:00～16:00
近藤昊先生	第2土曜日 14:00～16:00 第4土曜日 10:00～12:00
島田凉子先生	土曜日 10:30～16:00
庄子和夫先生	土曜日 10:00～12:00
鈴木はる江先生	土曜日 10:00～12:00
田村美由紀先生	火～金曜日 10:00～16:00
中野博子先生	土曜日 10:00～16:00
中山和久先生	土曜日 10:00～16:00
村上香奈先生	土曜日 10:00～16:00
矢吹弘子先生	木曜日 14:00～16:00
吉田浩子先生	火曜日 10:00～16:00

右表の他、水・金曜日が学内勤務日となっている場合もあり、先生と相談の上、都合が合えば、右表以外の日時で面談を行なっても結構です。

面談予約方法

一面談申込は遅くとも7日前必着。電話での申込は受けられません。

◆UHAS@Myキャンパス◆

UHAS@Myキャンパス「卒業研究Q&A」のコーナーより送信。『オフィスアワー面談希望』と記載してください。

◆郵送◆

面談予約票(『学修生活の手引き』巻末の「様式17」)に記入し、学務課まで郵送(返信用15円切手を同封)。

◆FAX◆

面談予約票に記入し、学務課までFAX送信(048-749-6110)。

※卒業研究指導の場合はFAX不可。

※複数の候補日を記入してください。対面

ではなく電話相談の場合も同様の方法で予約してください。

華蓮だより

人間総合科学大学通信

〒339-8539

埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288

電話：048(749)6885

FAX：048(749)6110

E-mail：records@human.ac.jp

『華蓮だより』2012年春号

2012年4月1日発行

通巻第101号

発行／学校法人早稲田医療学園
人間総合科学大学事務局

ホームページもご覧ください。
<http://www.human.ac.jp/>

次号は7月発行予定



2008.4 - 2015.3

本学は平成20年度(財)日本高等教育評価機構による第三者評価の結果、大学評価基準を満たしていると認定されました。